

第38回新潟大学オリエンテーリング大会  
参加同意書

1. 自然環境の中で行われるオリエンテーリングの特性によって生じる一般的ナリスクや、**積雪によるリスク**、完全には予期できないトラブルが起こりうるスポーツであることを理解したうえで、参加します。
2. **雪上では普段より体力の消費が激しいことを認識し、積雪によるリスクを踏まえて慎重なクラス選択、参加判断を行って参加します。**
3. **積雪や野生動物への対策として、携帯電話・笛・熊鈴を必携とします。**
4. 主催者が定めたすべてのルール、注意事項を遵守し、さらに環境保全にも十分配慮して大会に参加します。
5. 大会当日、体調が悪い場合は自主的に参加を見合わせます。参加にあたっては、安全及び健康管理に十分注意し、体調等に異常が生じた場合は速やかに競技を中止します。
6. 大会中に傷病が発生した場合、応急手当を受けることに異議はありません、この場合の補償は主催者が加入した保険の範囲内であることを承諾します。
7. 貴重品や手荷物などの管理は各自の責任とし、紛失、盗難などについて、主催者は一切の責任を負わないことを承諾します。
8. 以下の事項を確認のうえ、主催者が個人情報を取得することを承諾します。
  - ・主催者が取得した個人情報は、本大会運営上必要な作業、および今後の当協会主催大会の告知・広報の目的に限定して使用すること。
  - ・主催者が取得した個人情報は、委託業務、法律上公的機関への届出・提出が必要な場合、事故等での緊急時を除いて第三者へ提供しないこと。
  - ・主催者が取得した個人情報について、本人から開示、内容の訂正、追加、削除の求めがあった場合、速やかに対応すること。
9. 地震・災害・風水害・荒天・天災・降雪・事件・疫病などによる開催縮小・中止については、主催者が判断し、決定することを承諾します。またその場合、参加費の返金については主催者の判断に従います。
10. 大会出場中の映像・写真・記事・記録等（氏名・年齢・性別・記録・肖像等の個人情報）を新聞・テレビ・雑誌・インターネット・パンフレット等に報道・掲載・利用されることを承諾します。また、その掲載権・使用权は主催者に属することを承諾します。
11. 年齢・性別等の虚偽申告、本人以外の出走（代理出走）はしません。
12. 大会当日以外に今大会使用地図を使用した入山は行いません。

私は上記内容に同意のうえ、本大会に参加します。

未成年（18歳未満）の参加者の場合：

私は保護者（法定代理人）の同意を得たうえで本大会に参加します。

## ※オリエンテーリングで起こりうる一般的リスク及び対策

### ①道迷い

オリエンテーリングでは「道迷い」のリスクがあります。

現在地を見失った場合は林道に出ることで比較的容易に現在地を把握できます。なお山から道路に出る場合は安全に下りられる場所を選んで通行してください。森の中では日没時刻以前にも、地図も読めないほど暗くなります。

必ずフィニッシュ閉鎖時刻までにフィニッシュへ戻ることを意識してください。

また遭難時に備えてホイッスル（笛）や携帯電話などの携行を義務化します。

時間までにフィニッシュ（会場）に到達できない場合は、暗くなる前に林道に戻り、林道や道路を使ってフィニッシュに向かうようにしてください。

### ②外傷

転倒などにより、自然の地形や植生に由来する切創、裂創、刺創、打撲、捻挫、脱臼、筋腱断裂、骨折、内臓損傷、などが起こる可能性があります。創からの二次感染（破傷風など）の危険性もあります。足元の安全を確保しながら進むことでリスクを低減できます。

### ③低体温

天候の良し悪しに関わらず低体温になる可能性があります。低体温症予防のため、長袖長ズボンでの出走を義務化します。降水時には綿ではなく化繊のアンダーウェアを着用するなど、防水性のオーバーウェアを利用することも検討してください。今大会は積雪により足がとても冷たくなることが予想されます。万全の対策を推奨します。

### ④脱水症状

山での行動は長時間に及びます。必要に応じて、飲料水を携行してください。携行しない場合は、事前の水分補給をしっかりと行ってください。コース途中で飲料を購入できる場所はありません。日本オリエンテーリング競技規則 16.8 項に基づき、優勝設定時間が 30 分を超える場合は、少なくとも 25 分ごとに給水所（地図上のコップマーク）を設けます。

### ⑤転落・滑落・穴の踏み抜き

急な斜面や法面、がけなどがあります。また、積雪により斜面がとても滑りやすくなっており、緩斜面以外は登れません。やみくもに進まず周囲の安全を確保しながら進んでください。積雪により見えにくくなった穴や側溝を踏み抜くと深く沈むことがあります。穴や側溝に落ちると復帰が難しいです。すでに人が通った安全な場所を通行したり、地図上の穴表記のところには近づきすぎたりしないでください

## ⑥落石・落雪

急な斜面や法面の下側などで落石・落雪の可能性があります。小石が転がる場所などでは上方の安全も確認しながら進んでください。

## ⑦踏み抜き

整備されていない道を利用するため踏み抜きの可能性があります。なるべく底の丈夫な靴の利用をおすすめします。

## ⑧野生動植物による事故

シカ、イノシシ、スズメバチ、マムシ、ヤマビル、マダニ、クマなどのヒトに危害を加える動植物の生息地である場合があります、遭遇による事故が起こる可能性があります。動物に対しては万一遭遇してもいたずらに刺激しないようにしてください。

## ⑨その他

転倒による骨折・捻挫、急病・体調不良による停滞と救助の遅れなど、一般的なアウトドア活動と同等のリスクがあります。

### ※救助を待つ場合

万が一動けなくなった場合は、笛を用いてなるべく大きな音を出し、他の競技者に救助を求めてください。可能な限り、近くの救護所・給水所・近くのコントロール・林道に出て救助を求めてください。携帯電話を携行している場合は、直ちに地図に記載されている緊急連絡先に連絡をしてください。

### ※救助対象者を発見した場合

救助対象者を発見した場合は、直ちに競技を中止し救助対象者の救護を開始してください。

【参考】ナビゲーションスポーツのための安全ガイド（日本オリエンテーリング協会）

[https://www.orienteering.or.jp/archive/JOA\\_safety\\_manual2022ver.5.pdf](https://www.orienteering.or.jp/archive/JOA_safety_manual2022ver.5.pdf)